

歯科医師は、医療人としての高い倫理感をもって、患者の安全を何よりもまず優先した上で質の高い歯科医療を提供するとともに、医学に新たな知見を積み重ねることができるよう、以下の資質・能力の向上のため、生涯にわたって研鑽していくことが求められる。

本稿では、医療人として生涯にわたって修得・研鑽すべき共通の10の資質・能力を大項目に示し、卒業時までに修得すべき具体的な能力を示した。

#### PR: プロフェッショナリズム (Professionalism)

人々の命と健康を守るために、人間の多様性に配慮し、人間性を尊重しつつ、歯科医師の職責を十分に自覚し、利他的な態度で医療に関わりながら、歯科医師としての道を究めていく。

- PR-01 歯科医師としての職責を理解し、倫理観、責任感、品格、思いやりを持って行動できる。
- PR-02 患者、生活者の心理的、社会的要因や社会背景に配慮し、尊厳を尊重し、利他的、誠実、正直、公平公正に行動できる。
- PR-03 社会規範はもとより、歯科医師法及び関連法規、歯科医師に求められる規範・倫理を遵守できる。
- PR-04 自己の知識、技術、態度を恒常的に評価し、自己主導型学習を行い、自己評価能力を高めながら、常に自己の向上を図ることができる。
- PR-05 医療従事者としてセルフマネジメント能力(レジリエンス、ストレスマネジメント)を養うことができる。
- PR-06 同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して協調的にふるまうことができる。

#### GE: 総合的に患者・生活者をみる姿勢 (General Attitude)

個人と社会のウェルビーイングを実現するために、患者・生活者の心理及び社会文化的背景や家族、地域社会との関係性を踏まえ、説明責任を果たしつつ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、総合的に患者・生活者を支える歯科医療を提供していく。

- GE-01 歯科医師としての説明責任を果たし、インフォームド・コンセントを適切に得るために必要な能力を身に付ける。
- GE-02 かかりつけ歯科医の職責を自覚し、地域の実情も視野に入れ、プライマリ・ケアを提供できる。
- GE-03 患者・生活者の成長、発達、老化等のプロセスを踏まえ、適切に患者の診療にあたることができる。
- GE-04 患者の抱える多疾患や心理・社会的観点も踏まえ、患者にとって最善の臨床実践に関与できる。
- GE-05 歯科医療にとどまらず、患者・生活者の社会文化的背景を理解した上で、他職種や他業種との多職種連携を実践できる。

#### LL: 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (Lifelong Learning)

より安全で質の高い歯科医療を実践するために、絶えず省察し、生涯にわたって自律的に学びながら他の歯科医師、医療者と研鑽し続けるとともに、積極的に医療者教育に関わっていく。

- LL-01 生涯学修に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
- LL-02 医療の質について、常に振り返り、その改善に努めることができる。

- LL-03 医療の評価・検証とそれに基づく自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。
- LL-04 生涯を通じて新しい知識や技術を学び続けることができる。
- LL-05 同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して助言、指導ができる。

#### RE: 科学的探究 (Research)

社会に適応する医学を創造していくために、医学・医療の発展のための歯学研究の重要性を理解し、科学的・批判的思考を身に付けながら学術・研究活動に関与していく。

- RE-01 自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。
- RE-02 研究の基礎となる科学的理論や方法論を身に付ける。
- RE-03 未知・未解決の臨床的あるいは科学的問題を発見し、解決に取り組むことができる。
- RE-04 新しい情報を生み出すための意欲、基礎的素養と研究上求められる倫理的対応を身に付ける。
- RE-05 国内外の論文や書籍、検索情報等の科学的情報を評価し、論理的・批判的考察や吟味によって有用な情報を選別できる。
- RE-06 科学的考察に基づいて、研究発表を行うことができる。

#### PS: 専門知識に基づいた問題解決能力 (Problem Solving)

患者・家族の抱える問題に対応しつつ、医学・医療の発展に資するために、医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら問題解決に努めていく。

- PS-01 生命の分子基盤、人体の正常な構造と機能を理解している。
- PS-02 人体各器官の発生、成長、老化と死を理解している。
- PS-03 人間の心理、行動を理解している。
- PS-04 疫学と予防を理解している。
- PS-05 病因と病態、生体の構造と機能の異常を理解している。
- PS-06 診断と治療を理解している。
- PS-07 歯科医療における材料と機器の性質と使用法を理解している。
- PS-08 診療の基本、口腔・顎・顔面領域の常態と疾患を理解している。
- PS-09 患者安全と感染対策を理解している。
- PS-10 医療・保健・福祉・介護に関する制度を理解している。
- PS-11 医療経済、医療政策、社会保険制度を理解している。
- PS-12 歯科医学の基盤となる自然科学、人文社会学を応用できる。

#### IT: 情報・科学技術を活かす能力 (Information Technology)

医療・医学研究をさらに発展させるために、発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。

- IT-01 情報倫理(AI 倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
- IT-02 健康・医療・介護に関わる情報倫理を理解している。
- IT-03 個人の情報コントロールABILITYに基づいた、医療・保健・介護分野での Internet of Things(IoT)技術やAI等のデータの活用を理解している。
- IT-04 数理・データサイエンス、AI等の基本的情報知識と実践的活用スキルを身に付ける。
- IT-05 データサイエンス、AIを駆使したイノベーションの創出に関心を示す。

IT-06 歯科医療において Digital Dentistry の活用を理解している。

### CS: 患者ケアのための診療技能 (Clinical Skills)

安全で質の高い歯科医療を提供するために、臨床技能を磨き、それを遺憾無く発揮し、患者の苦痛や不安に配慮した診療を実践していく。

- CS-01 患者中心の医療を理解し、患者本人、家族、医療スタッフ等関係する様々なリソースから必要な情報を収集できる。
- CS-02 口腔、顎顔面領域にとどまらず、基本的な身体診察を行うことができる。
- CS-03 臨床推論により、必要な検査を選択し、疾患の診断ができる。
- CS-04 高頻度の疾患に対して一口腔単位の治療計画を立案できる。
- CS-05 高頻度の疾患に対して患者本人、家族、医療スタッフと連携し、必要な歯科医療を提案または基本的な歯科医療を実践できる。
- CS-06 高齢者、有病者、障害者等の配慮が必要な患者に対応できる。
- CS-07 患者安全と感染対策を実践できる。
- CS-08 病状説明、患者教育を実践できる。
- CS-09 医療情報の特性を理解し、適切に記録、管理できる。
- CS-10 心肺蘇生等の救命救急処置を身に付ける。

### CM: コミュニケーション能力 (Communication)

患者の意思決定を支援して、安全で質の高い歯科医療を実践するために、患者及び患者に関わる全ての人の状況を考慮した上で良好なコミュニケーションをとり、信頼関係を構築していく。

- CM-01 患者のプライバシーや苦痛等に配慮し、適切なコミュニケーションを取ることができる。
- CM-02 必要な情報についてわかりやすく説明できる。
- CM-03 患者、患者家族等の多様性を理解し、適切な人間関係を構築し、適切な歯科医療を行うために十分なコミュニケーションスキルを養うことができる。
- CM-04 医療チームの構成員と信頼関係を築き、安全で円滑な医療を行うためにコミュニケーションを図ることができる。
- CM-05 患者を取り巻く、保健、福祉及び介護における多職種とコミュニケーションを図ることができる。

### IP: 多職種連携能力 (Interprofessional Collaboration)

患者中心の歯科医療を提供するために、医療、保健、福祉、介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに対等な関係性を築きながら、チームとして協働していく。

- IP-01 医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を理解している。
- IP-02 医療、保健、福祉、介護における歯科医師の役割を理解している。
- IP-03 患者を取り巻く医療、保健、福祉、介護における多職種とそれぞれの役割を踏まえて連携できる。
- IP-04 多職種連携の中でリーダーシップを発揮するための能力を身に付ける。

## S0: 社会における医療の役割の理解 (Medicine in Society)

健康の代弁者として公衆衛生の向上を図るために、医療は社会の一部であるという自覚を持ち、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野も持ちながら、公正な歯科医療を提供していく。

- S0-01 社会保障(社会保険、社会福祉、公的扶助、公衆衛生)を理解している。
- S0-02 予防と健康増進を理解している。
- S0-03 医療、保健、福祉、介護とそれを取り巻く社会環境を理解している。
- S0-04 社会や地域における歯科医療の現状を理解し、口腔の健康を通じて全身の健康の増進の活動に積極的に参加できる。
- S0-05 地域医療において、各種制度に基づく歯科医師の果たす役割を自覚し、行動できる。
- S0-06 災害時における歯科医師の役割を理解している。
- S0-07 国際社会における多様性を理解し、地域医療でも活躍できる。